

落ち葉のリサイクル

「落ち葉のリサイクル」は、南区が循環型の公園管理を目指して進めているみどりのリサイクル事業の取り組みの一つです。

これまで公園の落ち葉はごみとして処理されてきました。落ち葉は公園内では滑りやすかったり、舗装路や芝生の景観を損ねたり、雨水樹などをふさいだりすることがあります。しかし一方では、腐葉土となって植物の栄養になったり土壌を活性化させたり、秋の情緒を感じさせたりするなど、良い面もたくさんあります。

そこで、落ち葉を資源として有効活用することができないかと考え、資源を循環させてごみを減らす取り組みとして「落ち葉のリサイクル」を始めました。



落ち葉を貯める！

初めに取り組んだ落ち葉のリサイクルは、堆積場所の設置です。

家庭菜園などで利用するため、落ち葉が欲しいという方に、気軽に持ち帰ってもらおうと、南区では公園に落ち葉の堆積場所を設けています。

平成14年度に区内3公園で始めた落ち葉の堆積場所の設置は、その後少しずつ数を増やし平成20年度には18公園になりました。

※堆積場所は、落ち葉の発生する時期に設置しています。設置時期や場所などは年ごとに異なるため、左ページ下、南区土木部維持管理課公園緑化係へお問い合わせください。



▲公園に設置した堆積場所



腐葉土作り！

次に取り組んだのが、公園の落ち葉を利用した腐葉土作りです。

腐葉土は保水性や排水性が良く、通気性や保肥性もあるため、花壇や菜園などの土壌改良に効果があります。そこで、公園の落ち葉で腐葉土を作り、それを公園の花壇に利用することを検討。公園内に樹木や花壇が多くあり、堆積場所として既設のごみ集積所を利用できることから、エドウィン・ダン記念公園で、平成17年10月、試験的に腐葉土作りを始めました。

同公園での腐葉土作りには通常約2年を要しますが、この年に集積した落ち葉は、発酵の進み具合が良かったため、1年で利用できる状態になり、平成18年11月、市民の皆様へ試行配布を行いました。

その後は、落ち葉集めや天返し（かき混ぜ）などの作業を通して、地域交流や公園の利用促進を図ろうと、町内会や一般参加者などに協力を呼び掛け、平成19年4月にポ

ランティア団体「落ち葉の会」が発足。同公園での活動が始まりました。

発足から3年目を迎え、勉強会や意見交換などを行い試行錯誤しながら取り組んできた結果、とても質の良い腐葉土ができるようになりました。この腐葉土は、公園内の花壇に利用したり「落ち葉の会」の会員が利用したりして活用しています。



▲町内会の天地返し作業

このほか、平成19年度から区内3公園で町内会が管理をして、腐葉土作りに取り組んでおり、環境教育や園芸部の活動などの一環として、一部の小中学校や高等学校でも腐葉土作りを行っています。